

第4次湖南省障がい者の支援に関する基本計画骨子案

1. 3つの原則

「障がいのある人が地域でいきいきと生活できるための自立支援に関する湖南省条例」の目的に基づき、また、第1次障がい者計画以来の考え方を継承して、計画の前提となる「3つの原則」を第4次湖南省障がい者の支援に関する基本計画においても、継承していきます。

1 基本的人権を尊重し、差別を禁止する

2 地域共生の社会に向かう

3 みんなで取り組む

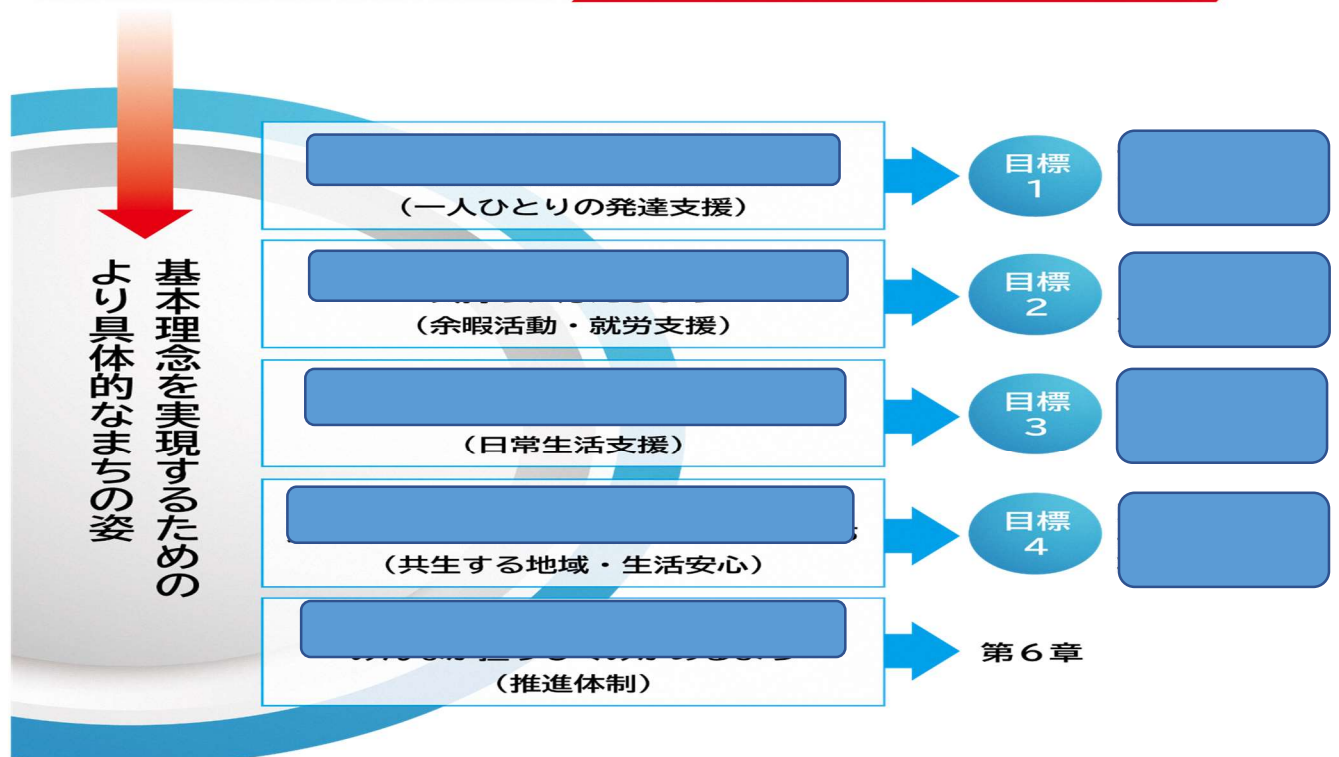
2. 基本理念と目標

本計画がまちの将来像として描く「基本理念（めざすまちの将来像）」については、「一人ひとりが自分らしく ともに生きるまち 湖南省」を継承します。

また、基本理念を実現するため、より具体的なまちの姿を5つ描くとともに、基本理念や現状・課題を踏まえて、本市のまちづくりにおいて達成を図る目標を4項目掲げます。この目指すべき「まちの姿」や「目標」などについて現状に即した具体的な検討を行います。

めざすまちの将来像（基本理念）

一人ひとりが自分らしく ともに生きるまち 湖南省



3. 障がい福祉施策の体系

第3次湖南省障がい者の支援に関する基本計画の4つの目標に即した施策の体系は、以下のとおりです。基本理念や目標を設定したのちに、第4次湖南省障がい者の支援に関する基本計画における施策目標や進捗管理を行うための指標を設定します。

